

事業概要【新産業ビジネス拠点における次世代型成長支援システムの構築】

申請者	新潟県長岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,270千円 (10,270千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカライゼーション（しごと創生）
目的・効果	- 令和8年度に設置する産業ビジネス拠点に産業関係機関が入居し、互いに連携しながら一体的に企業の新産業創出等に向けたサポートを行うことで、地域全体で産業の活性化とイノベーションの創出を進めながら地域の魅力向上と活性化を図り、若者や企業から選ばれる地域を目指す。 4大学1高専及び15の専門学校が立地し、最先端の研究を行う教員と6,000人の学生を擁す環境に加え「ものづくり技術」集積地である特色を生かし、産学官金が連携し新産業創出や起業・創業の支援を進めていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ワンストップ事業者支援プラットフォーム（仮称）設置 ・設立総会会場借上料（200千円） ・設立総会講演会講師謝金、費用弁償（70千円） ○国の計画、経済、金融、物流等のビックデータと、企業情報検索 AIを活用して、地域特性に合わせた、経営者が意思決定しやすい次世代領域、新ビジネスを発見する本市独自のシステムを構築するための委託料（6,000千円） ○企業の要素技術や研究、特許等と学術機関の基礎研究や他企業の技術を連携させる専門コーディネーターによる産学協創センターのコーディネート機能の拡充と、デザイン開発領域参入への課題調査により、イノベーション創出を支援するための委託料（4,000千円）					新産業ビジネス拠点における次世代型成長支援システム	
地域の多様な 主体の参画	産官学金労の機関で構成するワンストップ事業者支援プラットフォーム（仮称）の伴走支援検討会議を通して、地域企業の経営課題等に対応する。 産学協創センターを核にして、4大学1高専や地域おこし協力隊等と連携してイノベーションの創出を目指す市内企業創出を支援する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①長岡市における製造品出荷額（2,391億円） ②ワンストップ窓口における相談件数（600件） ③ワンストップ窓口における支援件数（60件） ④次世代型産業連携事業数（10件）

1. 申請者情報

都道府県名	新潟県	市区町村等名	長岡市	地方公共団体コード	15202
担当部局名	商工部産業イノベーション課			責任者名	門脇 亮
担当者名	渡邊美和子	電話番号	0258-39-2402	メールアドレス	sangyou-seisaku@city.nagaoka.lg.jp
				責任者役職	課長

2. 交付対象事業の名称等

単独 広域	交付対象事業の名称									
単独	新産業ビジネス拠点における次世代型成長支援システムの構築									
事業分野 (大項目)	ローカルイノベーション (しごと創生)		事業分野 (詳細)	ITを活用した中堅・中小企業の生産性向上、新規事業化、対日投資促進等のローカルイノベーション分野				事業分野	○	
ソフト事業実施期間		2025	年	4	月	1	日	から	2028	年
拠点整備事業実施期間			年		月		日	から		年
インフラ整備事業実施期間			年		月		日	から		年
									3	月
									31	日
									まで	
									まで	
									まで	

< 変更状況確認欄 > ※軽微変更報告の際に記載

最終交付決定日		軽微変更報告日	
---------	--	---------	--

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体 コード	【ソフト事業】 対象事業経費	【ソフト事業】 申請額(左記の1/2)	【拠点整備事業】 対象事業経費	【拠点整備事業】 申請額(左記の1/2)	【インフラ整備事業】 対象事業経費	【インフラ整備事業】 申請額
1	新潟県	長岡市	15202						
計				0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

3. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)									
本市は、機械加工、鋳造業、メッキ・表面処理、鍛造業などの基盤的技術をもった企業や大手メーカーに加え、近年では電気・電子機械や液晶・半導体など多くの産業が集積し、新潟県内随一の「ものづくり技術」集積をもつ総合的な機械工業群を形成している都市である。また、長岡駅前の中心市街地は、平成24年に市役所機能と市民協働の拠点シティホールプラザアオーレ長岡の開館、平成28年には社会福祉センタートモシアなど、行政機能が集約されることによりまちなかの賑わいが創出されてきている中、令和5年度にミライエ長岡西館が開館し、オープンからの来場者は56万人を超えている。なお、長岡市の「イノベーション創発」と「居心地の良いまちづくり」を融合した取り組みについて、内閣府と東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センター(CREI)と協定を締結し、デジタル技術の活用やウォーカブルなまちなかの実現等、イノベーションが生まれる都市(まち)の条件について、日本初のイノベーションのモデル地区を目指して継続的に評価・検証を行っている。そして、ミライエ長岡は令和8年度に東館が完成することで、「人材育成」と「産業振興」の拠点がすべて整い、新たなスタートを迎える予定となっている。また、本市には長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡崇徳大学の技術、デザイン、経営、看護を学ぶ4大学と長岡工業高等専門学校に加えて、15の専門学校が立地し、最先端の研究を行う教員と6,000人の学生を擁する人材の宝庫であるとともに、高度な学術機関が集積している。 そこで、学生をはじめとする若者や企業から選ばれる魅力ある地域に向け、ミライエ長岡東館内に産業ビジネス拠点を新たに設置し、4大学1高専と商工会議所、市、地元金融機関が連携して、高等教育機関が持つ知見と市内企業が持つ技術を融合し、新製品・新産業の創出やベンチャー企業の育成、起業・創業の支援を進めていく。そして、若者や企業の「何かをやりたい」と希望する人の夢や地域の課題について、様々な機関が連携して実現や解決につなげていく。この拠点には、商工会議所や金融機関、ハローワークなどの就労支援機関や起業支援機関など複数の産業関連機関が入居し、2024年7月に設置した4大学1高専と企業等との連携に関する相談に応じるワンストップ窓口「産業協創センター」も隣接している。産官学金が一体的に企業の新産業創出・新たなビジネスモデルの構築などに向けたサポートを体系的に行うことで、地域全体で産業の活性化とイノベーションの創出を進め、市内企業の競争力の向上や成長促進、社会的な課題の解決を図る。									
B. 地方創生の実現における構造的な課題									
長岡商工会議所、長岡地域企業のDX相談窓口なおかDXセンター、一般社団法人新潟県起業支援センター、長岡公共職業安定所及び金融機関等様々な産業関連の機関が存在しているが、それぞれ独自で支援策を講じており横展開が図られておらず、地域の一体感が不十分である。また、2024年7月に設置した「産学協創センター」における産学連携の実績は5件と少ない。地域産業の振興に向けて、関係機関とともに市内の産業界が一致団結して産業と学術の連携を強化し、新たな技術や知識の創出をを目指す必要がある。 人口減少の加速により、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、15歳から64歳までの生産年齢人口が2035年には129,200人、総人口の約55%となる見込みであり、人手不足が顕著となる。そのため、業務の自動化・効率化が見込めるデジタル技術を活用した生産性向上等は急務であるが、長岡商工会議所の調査によると、会員事業所のデジタル化・DXの状況はアナログと電子化が66.8%を占めており、関心の高まりはあるもののデジタル初期段階の事業者が多く、デジタル化が遅れている状況であるといえる。また、同調査において、デジタル化に取り組む上での課題に「知識・情報不足」、「進める人材がいらない」とする回答が多数あり、積極的な事業所への情報提供と支援が求められている。さらに、2020年以降若年女性(10-39歳)の進学等による転出が300人前後で高止まりしており、その転出先は男女ともに1都3県が約3割、そのほか約4割が県内、特に新潟市に若年人材が流出している。市内企業の給与水準が首都圏の企業に比べ低いことも一つの要因であると考えられるが、地元企業の認知不足や、若者や女性が希望する仕事がないなどの理由により就職先を首都圏や市外に求める学生が多く、4大学1高専卒業生の地元定着率も低いことが課題である。									
C. 交付対象事業の概要 (交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのか分かるように記載すること。)									
産業や雇用、金融などの機関がまちなかの産業ビジネス拠点に入居することから、この機を活かして、個社の技術とビッグデータなどをもとに構築したAIを活用した長岡独自のマッチング支援システムを開発し、学術や技術に精通した専門知識を有する人材が当該システムを用いながらマッチングを行い、世界に向けた新たな産業や製品といった「次世代の稼く種」を見つけるなど、企業の成長戦略を支援する。10年後の事業環境の変化に危機意識を持ち、事業変革と成長産業分野への投資に意欲を持つ市内企業3,747社(地域経済分析システム、及び中小企業白書 2024 版より算出)を対象とする。 現在、当市と共同で新たにマッチングシステムを開発するベンダーの候補として、長岡技術科学大学大学院卒業生と、同大学講師が設立したベンチャー企業で、生成AI技術を用いてテキスト情報やWeb情報を基にしたシステム開発を行う「株式会社マヨラボ」を想定している。 さらに、入居団体を構成員とするワンストップ事業者支援プラットフォーム(仮称)を設けて、入居団体が互いに意見を出し合いながら改善に取り組み、将来像の実現に向けて産官学金が連携して取り組んでいく。そして取り組みの成功事例について、SNSなどによる積極的な情報発信と企業訪問による対面でのPRにより、産業ビジネス拠点を利用する企業の増加と、地域を超えたコラボレーションにつなげる。 また、あらゆる業種に共通するデザイン開発領域参入に向けた市内企業の課題を調査整理し、在学生の7割以上が女性である長岡造形大学の学生の協力を得ながら、女性に求められる企業や業種の市内での創出を支援する。 これらの取り組みが日常的にミライエを利用している学生の目に触れることで、若者の興味を引き、さらに地元企業の認知も自然と広がり、若者のアイディアを活かした新産業の創出や、若者が主体となった新たなまちなかの活性化の展開が期待できるほか、ミライエは新しいこと、面白いことが実現できる場として理解されていくことで、将来の就職先、定住先の候補として選ばれる可能性が広がる。									

4. 重点テーマへの該当

重点テーマへの該当	有
重点テーマ	地域経済

5. 他の政策・施策等との連携状況

連携事項	他省庁補助金等の関連する他政策・施策との戦略的な連携を図る事業		PFI法に基づく事業	
	他の政策・施策に基づく取組と連携する事業における弾力措置の対象となる事業		地域再生法に基づく事業	○
	特区制度に係る制度・規制改革を活用した、又は活用しようとする事業		スタートアップ支援に係る事業	○

<地域再生法に基づく事業>

支援措置の名称	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例
地域再生計画の名称	長岡市まち・ひと・しごと創生事業
概要	長岡市まち・ひと・しごと創生事業では、以下の事業を実施し、特に「エ」において、4大学1高専や産業界と連携するNaDeC構想に基づき、学生の起業・創業や新技術を活用したイノベーションにより、新産業の創出に取り組むこととしている。 ア 若者自らが魅力を生み出すまちづくりを進める事業 イ 長岡で子どもを産み育てたいというまちづくりを進める事業 ウ 質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰って来たい人、未来を背負って立つ人を育てる事業 エ 頑張る地元企業・地場産業の支援に加え、起業・創業や企業誘致を産官学金の総合力で推進する事業 オ 「長岡ファン」を増やし、交流人口・関係人口を増やす事業 カ 将来にわたって住み続けたいと思えるような、誰もが充実し、安心して暮らすことのできる、安全で快適なまちづくりを進める事業

<スタートアップ支援に係る事業>

概要	産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画の認定
----	--------------------------

6. 他の国庫補助金等の対象事業の除外

ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
---	---

7. 交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI)

KPI① (アウトカムベースで、複数年度を通じて評価指標としてふさわしいもの)	長岡市における製造品出荷額										単位	億円
KPI②	ワンストップ窓口における相談件数										単位	件
KPI③	ワンストップ窓口における支援件数										単位	件
KPI④	次世代型産業連携事業数										単位	件
KPI⑤											単位	
KPI⑥											単位	
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠	製造品出荷額は、毎年度実施する工業統計調査により把握する。従業員4人以上の事業所の製造品出荷額について、令和3年から4年の増加率10%が継続することを目標とする。 ワンストップ窓口の相談件数は、地元企業などが相談を行った実績であり、支援件数は相談を受けてから関係機関と連携して支援に取り組んだ件数として、当該窓口で設置当初から統計を取ることが可能である。 次世代型産業連携事業数は、デジタルや生成AIなどを活用した産学、産産連携による事業数であり、次世代型成長支援システムの構築の成果指標として適当であり、産学協創センターで把握することができる。											
	事業開始前 (現時点)	2025年度 増加分	2026年度 増加分	2027年度 増加分	2028年度 増加分	2029年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	年度 増加分	KPI増加分の累計
KPI①	7228.00	722.00	795.00	874.00								2391.00
KPI②	0.00	0.00	200.00	400.00								600.00
KPI③	0.00	0.00	20.00	40.00								60.00
KPI④	0.00	0.00	5.00	5.00								10.00
KPI⑤												0.00
KPI⑥												0.00

8. 自立性

取組内容 (事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。)							
ワンストップ事業者支援プラットフォームや産学協創センターの体制を活かしながら、民間企業が収益を得ながらAIマッチング支援事業を行う。 産学連携の実績を広くPRしながら、企業版ふるさと納税をはじめとする企業からの寄附を受けながら自主財源の確保を行う。							
自主財源の種類		自主財源の内容					
【A】	企業財源	マッチング支援による成功報酬、コンサルティング料等の企業収益					
【B】	企業からの寄付金	企業版ふるさと納税等による本事業への寄附					
【C】	一般財源	市の一般財源による負担					
【D】							
【E】							
各年度における自主財源見込額	事業開始前 (現時点)	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	2030年度 (6年目)
【A】	0千円	0千円	0千円	0千円	5,000千円		
【B】	0千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	2,000千円		
【C】	0千円	9,270千円	22,500千円	24,500千円	18,000千円		
【D】							
【E】							
合計	0千円	10,270千円	23,500千円	25,500千円	25,000千円	0千円	0千円
交付対象事業経費		10,270千円	23,500千円	25,500千円	0千円	0千円	
うちソフト事業費		10,270千円	23,500千円	25,500千円	0千円	0千円	
うち拠点整備事業費		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

総事業費	0千円	10,270千円	23,500千円	25,500千円	25,000千円	
------	-----	----------	----------	----------	----------	--

9. 地域の多様な主体の参画

区分	主体名	主な役割、意見及び改善方策への反映
産	長岡商工会議所 ながおかDXセンター (一社)新潟県起業支援センター	会員企業への情報提供、相談対応。 企業・団体などからのDX相談を受付、改善策を提案。 起業に関する相談窓口。 それぞれの機関は、ワンストップ事業者支援プラットフォームの検討会議により意見や改善方策を提案し、改善等に反映する。 長岡商工会議所は、市と定期的実施している意見交換の場等において、産業ビジネス拠点のあり方や事業の実施方法を協議する。
官	長岡市 長岡公共職業安定所 長岡地域若者サポートステーション 国立研究開発法人産業技術総合研究所 国際交流センター 独立行政法人国際協力機構	ワンストップ事業者支援プラットフォーム(仮称)の事務局 就職支援、雇用対策に関する相談対応 若者就職支援、雇用対策に関する相談対応 バイオ関連の研究開発や企業支援 外国人の交流や多言語による生活相談 高度外国人材の市内企業への就業支援 それぞれの機関は、ワンストップ事業者支援プラットフォームの検討会議により意見や改善方策を提案し、改善等に反映する。
学	長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡崇徳大学、長岡工業高等専門学校	産学協創センターを核にした4大学1高専の産学連携 それぞれの機関は、ワンストップ事業者支援プラットフォームの検討会議により意見や改善方策を提案し、改善等に反映する。 また、NaDeC構想推進コンソーシアムの会議の場等において、産業ビジネス拠点との連携や事業の実施方法等の協議を行う。
金	第四北越銀行、新潟県信用保証協会、政府系金融機関	企業への情報提供、企業ニーズの共有 それぞれの機関は、ワンストップ事業者支援プラットフォームの検討会議により意見や改善方策を提案し、改善等に反映する。
労	長岡市勤労者福祉サービスセンター 地域おこし協力隊	会員企業への情報提供。ワンストップ事業者支援プラットフォームの検討会議により意見や改善方策を提案し、改善等に反映する。 地域おこし協力隊のネットワークを活用した情報提供。受入課との定期的な打ち合わせの中で意見や改善方法を提案し、改善策に反映する。
言		
住民全般	NaDeC構想推進コンソーシアム学生会議	学生の意見集約 適宜学生との打ち合わせにより意見や改善方法を反映する。

10. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

検証時期	毎年度	9	月	
検証方法	産官学金労による外部有識者の意見等も踏まえ検証実施する。			
参画者	長岡商工会議所、長岡公共職業安定所、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、長岡造形大学、長岡崇徳大学、長岡大学、第四北越銀行			
検証結果の公表の方法	市ホームページ等で公表する。			

11. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標													
	現行の地方版総合戦略							次期地方版総合戦略						
新潟県長岡市	2020	年	4	月	1	日	から	2026	年	3	月	31	日	まで
	○若者が魅力を感じて働きたくなるように、頑張る地元企業・地場産業の支援に加え、起業・創業や企業誘致を産官学金の総合力で推進します。(戦略4 働く) 《基本施策4－2》地元企業・地場産業の成長・発展を産官学金の総がかりで支援し、地域経済を牽引する企業群の形成を目指します。 (数値目標) ・地域経済牽引事業計画承認件数 17件(2018年度) → 40件(2024年)							○若者が魅力を感じて働きたくなるように、頑張る地元企業・地場産業の支援に加え、起業・創業や企業誘致を産官学金の総合力で推進します。(戦略4 働く) 《基本施策4－2》地元企業・地場産業の成長・発展を産官学金の総がかりで支援し、地域経済を牽引する企業群の形成を目指します。 ※現在策定作業中						

12. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称													
新潟県長岡市	長岡市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画													
	地域再生計画の区域	新潟県長岡市の全域												
	計画期間	地域再生計画の認定の日	から	2026	年	3	月	31	日	まで				

(別紙1-1) ソフト事業経費内訳

2025.1.17

	2025年度 (1年目)	2026年度 (2年目)	2027年度 (3年目)	2028年度 (4年目)	2029年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	10,270千円	23,500千円	25,500千円	0千円	0千円	59,270千円
交付対象事業における ソフト事業経費【②】	10,270千円	23,500千円	25,500千円	0千円	0千円	59,270千円
交付対象事業における 施設整備・事業設備・備品 経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における施設 整備・事業設備・備品経 費比率【③/①】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

＜2025年度(1年目)＞

全事業期間における本年の位置付け		令和8年度に向けて「ワンストップ事業者支援プラットフォーム(仮称)」を設置する。 産産、産学連携に関する相談対応に活用するシステム開発やコーディネート体制を構築する。						
事業開始時期		事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2025 年 4 月		2026 年 3 月	2025 年 4 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費		10,270千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	2	計	10,270千円
1	ワンストップ事業者支援プラットフォーム(仮称)設置					関連するKPI	①、②	270千円
	産業ビジネス拠点に入居する長岡商工会議所、ハローワーク長岡、政府系金融機関などと市内企業への相談体制を検討するプラットフォームを設置するための経費。 設立総会会場借上料(200千円)、設立総会講演会講師謝金、費用弁償(70千円)							
2	産業ビジネス拠点機能強化					関連するKPI	①、③	10,000千円
	・国の計画、経済、金融、物流等のビックデータと、企業情報検索 AI を活用して、地域特性に合わせた、経営者が意思決定しやすい 次世代領域、新ビジネスを発見する本市独自のシステムを構築するための委託料(6,000千円) ・産業ビジネス拠点に専門コーディネーターを設置し、企業の要素技術や研究、特許等と学術機関の基礎研究や他企業の技術を連携させるコーディネートと、市内企業のデザイン開発領域参入への課題調査により、イノベーション創発を支援するための委託料(4,000千円)							
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数	0	計	0千円

<2026年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		産業ビジネス拠点開設とともに、積極的にワンストップ窓口の周知を図り地元企業の利用促進を進める。 新産業創出に産学・産産連携で取り組む補助制度を創設する。											
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③	
2026 年 4 月		2027 年 3 月		2026 年 4 月			年 月			年 月			
交付対象事業経費		23,500千円											
交付対象事業におけるソフト事業経費								要素事業数		2	計	23,500千円	
1	産業ビジネス拠点機能強化								関連するKPI		①、②		3,500千円
	・専門コーディネーターによるコーディネート・デザイン開発領域参入支援業務委託料(3,000千円) ・利用促進に向けたセミナー開催委託料(500千円)												
2	AIマッチング支援								関連するKPI		①、③		20,000千円
	・次世代型産業創出に向けた試作品の製作や販路開拓などに要する地元企業への補助金(20,000千円) 10社 (補助対象者:市内企業、補助対象経費:AIマッチング支援を受けて実施する試作品の製作等の経費、補助率:1／2、補助上限:2,000千円)												
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費								要素事業数		0	計	0千円	

<2027年度(3年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		ワンストップ窓口の周知を図り地元企業の利用促進を進める。 新産業創出に産学・産産連携で取り組む補助制度の利用促進と好事例のPR										
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③	
2027 年 4 月		2028 年 3 月		2027 年 4 月		年 月			年 月			
交付対象事業経費		25,500千円										
交付対象事業におけるソフト事業経費							要素事業数		2	計	25,500千円	
1	産業ビジネス拠点機能強化							関連するKPI		①、②		3,500千円
	・専門コーディネーターによるコーディネート・デザイン開発領域参入支援業務委託料(3,000千円) ・利用促進に向けたセミナー開催委託料(500千円)											
2	AIマッチング支援							関連するKPI		①、③		22,000千円
	・次世代型産業創出に向けた試作品の製作や販路開拓などに要する地元企業への補助金(20,000千円) 10社 (補助対象者:市内企業、補助対象経費:AIマッチング支援を受けて実施する試作品の製作等の経費、補助率:1/2、補助上限:2,000千円) ・AIマッチング支援による次世代型産業創出事業を展示会や各種広告等によりPRするための業務委託料(2,000千円)											
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費							要素事業数		0	計	0千円	

<2028年度(4年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費							0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数		計	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費				要素事業数		計	0千円

<2029年度(5年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け							
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
年 月	年 月	年 月		年 月		年 月	
交付対象事業経費							0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数		計	0千円
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費				要素事業数		計	0千円